

第 2 回岩手県医療審議会医療計画部会（H24. 12. 20）における意見の反映状況

No.	分野	意見	最終案 ページ	左記意見への対応（案）
1	がん	がんの早期発見をするための検査がいろいろ記載されているが、超音波検査が記載されていない。乳がんや胃がん、大腸がんなどで超音波検査は幅広く実施されていることから、内視鏡検査の次辺りに記載すべきでないか。	54	【記載を追加（中間案に反映済）】 御意見を踏まえ、がんの早期発見に係る当該文章中に、「超音波検査」の文言を追加して記載しました。
2	がん	求められる医療機能において、がん地域連携パスの文言が全く出てこない。がん地域連携パスは今動き出しましたところであり、病院で手術してその後診療所等に行くと必ず連携パスが動くことから、その文言は記載すべきでないか。	57	【記載を追加（最終案に反映）】 御意見の趣旨を踏まえ、「求められる医療機能等」の表中、「がん医療」へ所要の「地域連携クリティカルパス」に係る内容を追加して記載しました。
3	糖尿病	糖尿病の専門医が少ないという事で、岩手医科大学において、遠隔糖尿病治療が開始スタートしていることから、途中段階のものであるが、施策への記載について検討してもよいのではないか。	—	本計画への糖尿病遠隔医療の記載について、岩手医科大学と調整しましたが、現在は研究段階であり計画への記載は時期尚早との御意見であったことから、今回は記載を見送ることとしますが、研究の進捗について今後の動向を注視していきます。
4	災害時 医療	災害時におけるコーディネーターや地域コーディネーターの配置及びそれぞれの役割について、災害拠点病院連絡協議会による検討が進んでいることから、そのことについても記載すべきでないか。	140	【記載を追加（最終案に反映）】 御意見を踏まえ、災害医療コーディネーターの本部・各地域への配置について、追加して記載しました。
5	へき地 医療 (医療従 事者の 確保)	医師の配置の問題がへき地診療所に偏っているように感じるが、一番足りないのは県北沿岸の基幹病院、県立病院であり、そのことが記載されていない。 また、医師の地域偏在については記載されているが、診療科の偏在については大きく取り上げられていない。産科・小児科は記載があるが、それだけでなく耳鼻科、放射線科も非常に足りていない状況であることから、記載に当たり配慮が必要ではないか。	143	【記載を追加（最終案に反映）】 御意見の地域の基幹病院の医師確保については、別途「第 3 節 保健医療を担う人材の確保・育成」に記載していますので、御理解をお願いします。 また、御指摘のとおり本県では耳鼻咽喉科や放射線科の医師も不足の状況にあるなど、あらゆる診療科で不足の状況といえることから、「診療科全般にわたり医師が不足している」と追加して記載しました。
6	医療従 事者の 確保 (薬剤師)	かかりつけ薬局からもらっている薬を入院時に病棟の薬剤師がチェックしている業務、あるいは退院時に退院時服薬指導をした情報をかかりつけ薬局に提供する業務、このような薬薬連携と言われている取組が進められていることから、どこかに記載を検討願いたい。	165	【記載を追加（最終案に反映）】 御意見を踏まえ、薬薬連携の取組について追加して記載しました。

No.	分野	意見	最終案 ページ	左記意見への対応（案）
7	歯科 保健	<p>「3歳児むし歯有病率の低下」の数値目標について、現状値をみると目標値を既に達成しているように思われる。</p> <p>この数値目標は、来年度の健康増進計画を踏まえて見直すとの先の説明を聞けば理解できるが、分かっていない方たちがこの計画を見たときに、歯科保健についての目標値は既にクリアしたと誤解されるおそれがあることから、もう少し解説が必要ではないか。</p>	239	<p>【記載を追加（中間案に反映済）】</p> <p>記載の目標値は平成25年度までを計画期間とする現行の「健康いわて21プラン」に基づく目標値であることから、平成29年度の目標値については次期プラン（平成26年度から平成34年度まで）の策定を踏まえて設定するとともに、その旨を[目標値設定の考え方]（第7章「計画の推進と評価」4「数値目標及び設定の考え方」）として計画に記載しました。</p>
8	歯科 保健	<p>「3歳児のむし歯有病率の低下」の数値目標は設定されているが、永久歯列も当然大事であり、健康増進計画では12歳児の数値目標も設定されていることから、本計画への記載も検討していただきたい。</p>	183 239	<p>【記載を追加（中間案に反映済）】</p> <p>御意見を踏まえ、目標値に「12歳児の一人平均むし歯本数の減少」を追加しました。</p>
9	血液の 確保	<p>成分献血の数値目標についても、既に現状値が数値目標を達成しているように見え、先ほどの事務局の説明を聞けば理解できるが、中間案を一般の方が見た際、同じような疑問を持つのではないか。</p>	240	<p>【記載を修正（中間案に反映済）】</p> <p>御指摘を踏まえ、献血の目標値は毎年度の計画により定める旨の記載に修正しました。</p>
10	地域リ ハビリ テーシ ョン	<p>200ページ図表4-54をみると、二戸、気仙や釜石にはリハビリテーションの施設基準を取っている施設がない状況であり、ものすごくPT、OT、STの数が足りていないことから、全県的にこういった人を育成し、増やしていく方向に計画を立てていただきたい。</p>	—	<p>県全体でみるとPT、OT、STとも増加傾向（H17-H22で50～70%増）にありますが、一方で、二次医療圏別にみると地域的偏在があることから、202ページにおいて「多様化するリハビリテーション需要に対応するため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職の確保と資質の向上に取り組みます。」と記載したところであり、今後、その方策について関係機関による協議の場などで検討していきます。</p>